

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 05-008

PDCA	事務事業名	情報公開・個人情報保護事務	部課等名	総務部 総務課 総務担当	担当	羽根		
					内線等	246		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第1章 協働によりともに高め合うまち						
		節：第1節 協働のまちづくりの推進						
		基本施策：1. 市民協働の推進						
		単位施策：(2) 情報共有の推進						
	根拠法令等	個別施策：①広報活動及び情報提供の推進						
	対象・目的	半田市個人情報保護条例、半田市情報公開条例						
	目的を達成するための手段・活動内容	市民の知る権利を保障し、市の諸活動に係る説明責任を全うするとともに、市の保有する個人情報適正に取り扱う。 ・情報公開条例に基づき、公開請求された行政情報について公開の可否を決定し、請求者に開示する。 ・個人情報保護条例に基づき、行政情報としての個人情報を適正に管理する。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位	
		①情報公開・個人情報保護審査会開催回数		2.0	3.0	0.0	回	
		②情報公開・個人情報保護判定委員会開催回数		0.0	0.0	0.0	回	
		③情報公開請求及び自己情報開示請求件数		58.0	50.0	57.0	件	
		事業費		118.0	118.0	0.0	千円	
		人件費		2,221.0	2,186.0	2,174.0	千円	
		総事業費		2,339.0	2,304.0	2,174.0	千円	
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位	
		①申請件数1件あたりの事務経費		40,328.0	46,080.0	38,140.4	円	
	成果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位	
		①個人情報等漏えい事故件数	実績値	0.0	1.0	1.0	件	
			目標値	0.0	0.0	0.0		
			実績値					
目標値								
		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	小さい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C						
		情報公開請求等に対し、適正かつ迅速に対応することができた。 また、市の保有する個人情報の適正管理については、平成30年度に発生した個人情報漏洩事件を受けて、令和元年9月に全職員を対象とした個人情報保護、情報公開に関する研修会を開催した。しかし、11月に半田病院の病棟職員が個人情報を含む書類を持ち帰った際に車上荒らしにあい、入院患者39名分の個人情報（氏名・病室・検査結果）が記載された書類を紛失する事案が発生したため、全課等の長に対して改めて個人情報の管理について検証させ、適正な管理を徹底させた。 今後は、例年実施していた職員ポータルを通じた公文書及び個人情報の適正管理についての周知に留まらず、研修会を定期的に開催したり、内部監査を実施するなど、さらなる意識の向上に取り組む必要がある。						
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
			行政情報を適正に管理し、市民の知る権利を保障する情報公開制度及び個人の権利利益を保護する個人情報保護制度を適切な運用を継続する。 また、個人情報の適正な管理については、職員の理解及び意識の向上を図ることを目的として研修会を継続するとともに、漏洩時のリスクが高い特定個人情報を取り扱う部署については定期的な監査を、特定個人情報を除く個人情報を取り扱う部署については必要に応じて現場での確認を実施するなど、適正な運用ができるようにする。					
		令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
			①個人情報等漏えい事故件数			0	件	